

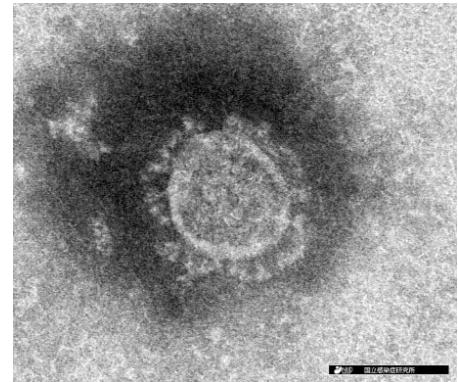


## ■ 特別号 新型コロナウイルス感染症

### はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、情報があふれている状態で、何が正しくて何が間違っているか判断が難しく、対応に困っている方も多いと思います。

加えて、感染拡大が短期で終息することは難しくなり、今後、長期的な対策が必要となってきています。自分や家族、周囲の方を守るためにも、地域の皆様の一助となればと思い、一般的な情報をまとめました。状況は日々刻々と変化しますので、最新の情報は各機関のページにてご確認下さい。



COVID-19 (国立感染症研究所HPより)

### これまでに確認されているコロナウイルスについて

感冒（かぜ）を引き起こす主なウイルスのひとつです。これまでにヒトに感染するコロナウイルスは4種類知られており、感冒の原因の10～15%を占める病原体として知られています<sup>(6頁[1])</sup>。中でも特殊な高い致死率の症状を起こす原因のコロナウイルスに2003年のSARS（重症急性呼吸器症候群）<sup>(6頁[2])</sup>や2012年のMERS（中東呼吸器症候群）<sup>(6頁[3][4])</sup>があります。

### ■ 新型コロナウイルス（COVID-19）とは

2019年12月に中華人民共和国の湖北省武漢市で確認された原因不明の肺炎を発症した患者があり、その後、原因である新型コロナウイルスが同定されました。WHO（世界保健機関）がこのウイルスの名前を「2019年に見つかったコロナウイルス（Corona Virus）による病気（Disease）」「COVID-19」と名付けました。

2003年に流行した重症急性呼吸器症候群（SARS）と同じベータコロナウイルスに属しており、今回の新型コロナウイルスを別名では「SARS-CoV-2」とも呼びます<sup>(6頁[5][6])</sup>。

### 感染経路～どのように感染するか～

#### 1. 飛沫感染

感染者のくしゃみ、咳、つばなどと一緒にウイルスが放出され、未感染者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。



#### 2. 接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で触れた場所にウイルスがきます。未感染者がその部分に接触するとウイルスがついて、触った手で目、鼻、口などの粘膜を触ることでウイルスが感染します。  
(厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）」より)<sup>(6頁[7])</sup>

※エアロゾルによる感染という言葉もよく使用されていますが、確定的な結論は出ていません。

## 症状

■感染しても無症状の方から重症化してお亡くなりになる方まで、症状が千差万別です。多くの場合、**発熱、感冒症状〔かぜ症状：咳、咽頭痛（のど痛）、鼻汁（鼻水）、鼻閉（鼻づまり）、頭痛、倦怠感**などが初期症状で、インフルエンザの症状にも似ています。このため、普通の感冒（かぜ）なのか、インフルエンザなのか、新型コロナウイルス感染症なのか区別は困難です（[8]）。

■嗅覚（におい）や味覚（あじ）も低下することが分かり、新聞やニュースで報道されています。しかし、嗅覚や味覚の障害はインフルエンザや一般の「かぜ」でも生じる事があり、必ずしも新型コロナウイルスだけが原因ではありません（6頁[9]）。

■8割の人は軽症のまま回復します。残りの2割が、発症から1週間程度で重症化し、肺炎になると言われています（6頁[1]）。

### かぜ症状



### 呼吸困難、咳・痰



### 人工呼吸管理など



発症～1週間程度

8割の患者は軽症のまま治癒

1週間～10日

20%の症例で  
肺炎症状が増悪し  
入院

10日以降

約2-3%で致命的

発症

1週間前後

10日前後

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第1版」より（6頁[1]）

### 緊急性の高い症状とは？

（厚生労働省 令和2年4月27日付の文書から）

### 本人の症状

- ・唇が紫色になっている
- ・息が荒くなった（呼吸数が多くなった）
- ・急に息苦しくなった
- ・生活をしていて少し動くと息苦しい
- ・胸の痛みがある
- ・横になれない。座らないと息ができない
- ・肩で息をしている
- ・突然（2時間以内を目安）ゼーゼーし始めた
- ・脈がとぶ、脈のリズムが乱れる感じがする

### 周囲からみた状態

- ・顔色が明らかに悪い
- ・いつもと違う、様子がおかしい
- ・ぼんやりしている（反応が弱い）
- ・もうろうとしている（返事がない）

### 感染状況

新型コロナウイルス感染者数は2020年4月19日に日本全国で1万人を突破し、依然増加しています。

NHK 特設サイト 新型コロナウイルス  
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>



読売新聞オンライン「新型コロナウイルス情報」  
<https://www.yomiuri.co.jp/topics/covid19/>



朝日新聞デジタル「新型コロナウイルス最新情報」  
<https://www.asahi.com/topics/word/coronavirus.html>



札幌医科大学「国別の人団あたりの感染者数推移」  
<https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/index.html>



# 新型コロナウイルスの特徴「怖いところ」



## 感染力が強い

対面で一定時間話をする、飲食を共にする、などで感染する可能性があります。

## 誰が感染しているかわからない

症状が出現するまで5日間と時間差があること、初期症状は普通の風邪と区別がつかないため、異常に気づきにくいこと、しかも症状の出ない人が10%以上います（6頁[10]）。

自分が感染していることに気付かず、同居しているご両親やお子さんにうつしてしまうことがあります。

## 普通感冒（かぜ）に比べて症状が長引く

普通感冒は3.4日で軽快し始めますが、新型コロナウイルス感染症は7日間持続すると言われています（6頁[10]）。

## 約2割で肺炎になり、その症状は多様で、さらに一部が重症化する

対面で一定時間話をする、飲食を共にする、などで感染する可能性があります。

高齢者や、糖尿病、呼吸器疾患などの持病のある人、抗がん剤などを使っている人は重症化しやすいと言われています（6頁[11]）。

2～3%で致命的な症状となると言われています（6頁[11]）。

## 自分が感染したかなと思ったときは？

○症状のない場合は、家にいて、出歩かないようにして下さい。

また、厚生労働省のホームページで新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安について掲載されています（6頁[20]）。

○次のいずれかの症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- ・風邪の症状が続いている。（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ・強いたるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患（COPD）等の基礎疾患等のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方等は重症化しやすいため、風邪の症状又は強いたるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合はすぐに受診して下さい。

<妊娠中の方へ>

妊婦の方についても念のため重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

<お子様がいる方へ>

小児については、国内において現時点で重症化しやすいとの報告はなく、新型コロナウイルス感染症については、自安どおりの対応をお願いします。

## 【相談後、医療機関にかかるときのお願い】

○帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。

○医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

帰国者・接触者相談センターは保健所などに設置されています。

各都道府県における帰国者・接触者相談センター紹介（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/covid19-kikokusyasessyokusya.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19-kikokusyasessyokusya.html)



うちで過ごそう



## 感染予防対策～3つの「密」を避ける～

上述の感染経路から考えた感染予防対策が必要です。

・飛沫感染を防ぐためには、他の人と距離をとること（ソーシャルディスタンス※（一般的には2m程度といわれる）、「密接」避ける）、大勢がいる「密集」場所を避けること、換気を良くする（「密閉」を避ける）ことが大切です。これが3つの「密」です。具体的には、顔を合しての人との会話や食事を避けること、個室での会議や集会に出席しないこと、換気をよくすることなどが大切です。公共交通機関の利用も控えた方が無難です。

※WHOでは、「フィジカル（身体的な）ディスタンス（距離）」と言うようになっています。「ソーシャル（社会的な）ディスタンス」では、誤解を招く恐れがあるからです。

・接触感染を防ぐためには、手を洗うこと、何かを触った後すぐ洗えなければアルコール消毒をすること、手で（目や鼻、口を含めた）顔を触らないようにすること、こまめに環境を（アルコールや次亜塩素酸水で）消毒すること、などがあげられます。



厚生労働省ホームページ「咳エチケット」  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

### ・「咳エチケット」

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方にうつす可能性があります。また、症状が軽くて自分では気づいていない新型コロナウイルス感染の方がいる報告があります。これらのために「咳エチケット」を行って下さい（6頁[11]）。

#### 咳エチケットってどうすればいいの？

1. マスクを着用する。
2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。
3. 上着の内側や袖（そで）で覆う。



## マスクを着けるだけで感染予防効果があるの？

リスクを下げるとして、マスクをする事がありますが、ウイルスが付着したかもしれないマスクの表面を触り、その手で目や鼻、口を触ればマスクをしていないと同じ事です。

新型コロナウイルスは数時間から数日間にわたって物体の表面で生存する可能性を報告されました（6頁[12]）。

インフルエンザウイルスに関する研究ですが、マスクの着用を義務付けただけでは有効な予防効果はなかったと報告されています（6頁[13][14][15]）。

マスク着用に加えて、手指衛生を行う事が感染予防により有効であることが報告されています（6頁[16][17][18][19]）。

マスク着用のみで過信せず、感染対策の基本である手指衛生を併せて行うことが重要です。

その他の感染予防対策については以下の各ページをご参考下さい。

厚生労働省ホームページより

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html#kokumin](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin)



防衛省・自衛隊ホームページより

[https://www.mod.go.jp/js/Activity/Gallery/images/Disaster\\_relief/2020covid\\_19/2020covid\\_19\\_guidance1.pdf](https://www.mod.go.jp/js/Activity/Gallery/images/Disaster_relief/2020covid_19/2020covid_19_guidance1.pdf)



日本医療安全学会ホームページより

<http://www.iarmm.org/J/newsletters/Covid19/personalprevention.pdf>



## 正しい手の洗い方



手洗いは感染を防ぐ上でとても重要です。

石けん液による手洗いや、アルコール消毒液による手指消毒を日頃から徹底して行いましょう。

また、タオルの共用は感染の元になるため、タオルの共用は止めましょう。

## 新型コロナウイルス関連ページ

厚生労働省ホームページ

「新型コロナウイルス感染症について」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)



NHK 特設サイト「新型コロナウイルス」

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>



国立感染症研究所（NID）「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連情報ページ」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/coronavirus/2019-ncov.html>



Yahoo! JAPAN 「新型コロナ最新情報まとめ」

<https://hazard.yahoo.co.jp/article/20200207>



## 千船病院からのお願い

千船病院では2020年5月現在、感染拡大防止のため発熱症状のある方は一般外来とは分けて診察を行っております。発熱症状がある方は事前に千船病院の予約センター（0120-279-025／06-6471-9025）までお問い合わせください。

## 感染症拡大防止に ご協力ください



その他にも診療科からのお知らせを更新しておりますので、詳しくはホームページをご確認下さい。

### 各診療科の体制について

[https://www.chibune-hsp.jp/covid\\_19\\_news/  
category\\_corona/chibune/system/](https://www.chibune-hsp.jp/covid_19_news/category_corona/chibune/system/)



### 院内での感染対策について

[https://www.chibune-hsp.jp/covid\\_19\\_news/  
category\\_corona/chibune/infection/](https://www.chibune-hsp.jp/covid_19_news/category_corona/chibune/infection/)



### 【参照文献】

- [1] 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部，“新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第1版”，17 3 2020. [オンライン]. Available: <https://www.mhlw.go.jp/content/000609467.pdf>.
- [2] 国立感染症研究所（NID），“SARS（重症急性呼吸器症候群）とは”，2005. [オンライン]. Available: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/414-sars-intro.html>.
- [3] 厚生労働省，“中東呼吸器症候群（MERS）について”，[オンライン]. Available: <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/mers.html>.
- [4] 国立感染症研究所（NID），“中東呼吸器症候群（MERS）とは”，28 5 2013. [オンライン]. Available: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/mers.html>.
- [5] T. S. M. Z. H. e. a. Lam, “Identifying SARS-CoV-2 related coronaviruses in Malayan pangolins,” Nature, 2020.
- [6] K. R. A. L. W. e. a. Andersen, “The proximal origin of SARS-CoV-2,” Nat Med, 2020.
- [7] 厚生労働省，“新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）”，5 5 2020. [オンライン]. Available: [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html).
- [8] 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会，“新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療所・病院のプライマリ・ケア初期診療の手引き（Version 1.0）”，11 3 2020. [オンライン]. Available: [https://www.primary-care.or.jp/imp\\_news/pdf/20200311.pdf](https://www.primary-care.or.jp/imp_news/pdf/20200311.pdf).
- [9] 一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会，“嗅覚・味覚障害と新型コロナウイルス感染症について -耳鼻咽喉科からのお知らせとお願い-”，30 3 2020. [オンライン]. Available: <http://www.jibika.or.jp/citizens/covid19/mikaku.html>.
- [10] 日本医療安全学会，“新型コロナウイルス（COVID-19）概要”，12 4 2020. [オンライン]. Available: [http://www.jpscs.org/newsletter/Covid19/COVID-19\(Yotsuyanagi\).pdf](http://www.jpscs.org/newsletter/Covid19/COVID-19(Yotsuyanagi).pdf).
- [11] 厚生労働省，“咳エチケット”，2020. [オンライン]. Available: <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>.
- [12] van Doremalen, Neeltje, et al. (National Institute of Allergy and Infectious Diseases), “Aerosol and surface stability of SARS-CoV-2 as compared with SARS-CoV-1,” The New England Journal of Medicine, 17 3 2020.
- [13] A. L. F. P. e. a. Canini L, “Surgical mask to prevent influenza transmission in households: a cluster randomized trial,” Plos One, 第 5, p. e13998, 2010.
- [14] O. S. T. O. e. a. Jacobs JL, “Use of surgical face masks to reduce the incidence of the common cold among health care workers in Japan: a randomized controlled trial,” Am J Infect Control, 第 37, pp. 417-419, 2009.
- [15] 岡崎悦子, 由.森山, 寛.小林, “サーナカルマスクのインフルエンザ予防効果,” 医療関連感染, 第 10, pp. 9-17, 2017.
- [16] M. G. P. V. e. a. Aiello AE, “Mask use, hand hygiene, and seasonal influenza-like illness among young adults: a randomized intervention trial,” J Infect Dis., 第 201, pp. 491-498, 2010.
- [17] D. M. C. D. L. e. a. Jefferson T, “Physical interventions to interrupt or reduce the spread of respiratory viruses: systematic review,” BMJ, 第 339, p. b3675, 2009.
- [18] C. B. A. A. Wong VW, “Hand hygiene and risk of influenza virus infections in the community: a systematic review and meta-analysis,” Epidemiol Infect., 第 142, pp. 922-932, 2014.
- [19] C. J. S. L. e. a. Saunders-Hastings P, “Effectiveness of personal protective measures in reducing pandemic influenza transmission: A systematic review and meta-analysis,” Epidemics, 第 20, pp. 1-20, 2017.
- [20] 厚生労働省，“新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安”，17 2 2020. [オンライン]. Available: <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000596905.pdf>.

【執筆】鄭 克真先生

【監修】二宮 幸三先生 [総合内科主任 部長]

藤田 芳正先生 [総合内科 部長  
／感染管理室 室長]

【発行元】広報室